

代表質問通告書

平成29年6月定例会

1番 会派 誠風 笹木 慶之 議員

1 現状認識について

- (1) 健全な行財政基盤の確保について伺う。
- (2) 本市が有する地理的、自然環境的魅力を活かした「まちづくり」について伺う。
- (3) 山口東京理科大学、レノファ山口等多く内在するポテンシャルを活かした「まちづくり」について伺う。
- (4) 行政の継続性と行政施策の改革について伺う。

2 まちの魅力や財産を活かした「夢と活力あふれるまち」の実現について

- (1) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の積極的推進（にぎわいの創出・地方創生を深化させる強力な推進力の活用）について伺う。
- (2) 産業振興を通じた雇用の創出について伺う。
- (3) 出産・子育て環境の整備・充実、教育環境の向上について伺う。
- (4) 人材の育成と組織の機能強化について伺う。
- (5) その他実現に向けた課題と対応について伺う。

2番 会派 日本共産党 中島 好人 議員

1 施政方針について

- (1) 施政方針のあり方について、なぜこのような施政方針となったのか。
- (2) 選挙公約は、どのように予算に反映されているのか。
- (3) 「良いチームづくり」について
 - ア 市長がいう「良いチーム」とは。
 - イ どのようにして、いくつぐらいつくるのか。
- (4) 「山陽小野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
 - ア 「大学の特性を活かしたまち」への取組について、どう考えているか。
 - イ レノファ山口との連携したまちづくりについて、どう考えているか。
 - ウ 産業振興を通じた雇用の創出の具体策はどのようなものか。
 - エ 子育て環境の整備・充実の具体策はどのようなものか。
 - オ 教育環境の向上の具体策はどのようなものか。
- (5) 「第二次山陽小野田市総合計画」について

市長の思いや明確なビジョンをどのようにして反映させるのか。

3番 会派 進化 松尾 数則 議員

1 市長によるトップセールスについて

(1) 企業誘致について

これからの企業誘致の取組について問う。

(2) シティセールスについて

シティセールスの在り方、方針を問う。

(3) 雇用の確保について

雇用の確保を図る手段について問う。

2 山口東京理科大学と連携した「大学の特性を活かしたまち」への取組について

(1) 起業家支援について

頭脳集団並びに若いエネルギーを利用した起業家支援について聞く。

(2) 地元産業界との連携について

今後の地元産業界と連携を図る方法・手段について聞く。

3 山陽小野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の積極的な推進について

(1) 公共交通の維持・活性化について

地域公共交通網形成計画について聞く。

4番 会派 新市民クラブ 矢田 松夫 議員

1 市長の政治指針について

選挙公約がどのように施政方針に反映されているのか。

2 市長のリーダーシップ発揮について問う。

市長のリーダー発揮は当然だが、市政の中でリーダーシップをどのように展開されるのか。

3 合併12年の現状について

機は熟し、いよいよ好機到来というが何をもって市政の向上が図られたのか。

4 大学の特性を活かしたまちについて

学生や教職員への周辺地域の環境整備について問う。

5 良いチームをつくることについて

現行の組織で不足している実態について明らかにされ、今以上のチームづくりを目指すならば、どのようにされるのか。

5 番 会派 改進 河 崎 平 男 議員

1 施政方針について

(1) 本市の発展は古くから交通の要衝として栄え、近代産業で隆盛し産業活動において、工業を中心に発展したまちである。

そのような中、今では若年層の市外流出や南部地域市街地形成の不備等の課題があるが、これからは、地域の特性として、人的、知的資源でもある山口東京理科大学の利活用が、本市にとって最も重要になる。

それらを踏まえ、山口東京理科大学を活かしたまちづくりをどのように考えておられるのか。

ア 高速交通体系は利便性が高いが、地域交通体系が不十分であり、今後の整備はどのようにされるのか。

イ 住環境・就職・結婚・子育て等体系的仕組みづくりはどのようにされるのか。

ウ 大学と産学官の連携による付加価値の創出はどのように考えておられるのか。

エ 南部地域の土地利用構想はどのようになっているのか。

(2) スポーツ交流施設とレノファ山口との連携についての考えを聞く。

ア 今までの経済効果はどのくらいか。

イ 勝敗によって、交流人口が左右されるのではないか。

ウ 今後の支援策はどう考えておられるのか。

(3) 本市がもっている素晴らしい歴史、文化、伝統、自然、スポーツなどの資源を活かしたまちづくり、このまちに生まれ、育ち、学び、働き、住んでよかったと実感できるまちを目指すには、どのように具体的に進めるのか。

ア 所管事務が違うが、どのように取り組むのか。

イ 良いチームをつくる、つまりチーム市役所であるが、市民・団体等に対してどのように取り組まれるのか。

ウ 歴史文化などの観光資源が数多くあるが、周辺整備や管理体制が不十分であり、また、PR不足ではないか。今後どのように取り組まれるのか。

(4) 高齢者対策・買い物難民や病院利用者が交通手段としての地域交通対策の整備はどのようにされるのか。

(5) 市民の皆様の意見をしっかりと聞くということだが、具体的取組はどのようにされるのか。